

メダカの多様性を探る



みんなちがって みんないい

絶滅危惧種として指定されている「メダカ」をキーワードに、水環境の改善・環境学習・里地里山保全再生等幅広い活動の成果を基に、生物多様性の頂点に立つ「コウノトリ」を自然再生のシンボルとして位置づけ「生き物の共生」に取り組んでいる越前市から、全国のメダカに係る関係者（改良メダカを含む）と共に、これまでの取組の意義を確認し、今後の持続可能な発展を図ることを目的とし開催いたします。



10月25日

金曜日

13:00~17:00

会場：越前市文化センター 小ホール
(越前市高瀬二丁目3-3)

第1部 講演会 13:10~14:40

野生でのメダカの暮らし

すめる場所と繁殖できる場所

小林牧人（国際基督教大学 特任教授）

改良メダカと日本メダカ協会

佐久間正之（日本メダカ協会 事務局長）

メダカをはじめとする小魚たちの「バケツ放流」をどう止めるか！

北川忠生（近畿大学農学部 教授）

第2部 パネルディスカッション 14:50~15:50

改良メダカとも野生メダカとも

1000年後も一緒に生活していくために必要なこと

ファシリテーター：奥村充司（日本めだかトラスト協会副会長）

パネラー：尾田正二（日本めだかトラスト協会会長）小林牧人（国際基督教大学 特任教授）

佐久間正之（日本メダカ協会 事務局長）北川忠生（近畿大学農学部 教授）

第3部 活動報告会 16:00~17:00

(1) 兵庫県立大学学生団体『豊岡コウノトリ湿地保全部隊』の活動について

兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科M2 島田慎吾

わたしのピオトープ・休耕田を利用した自宅ピオトープでの2年間の調査について

兵庫県豊岡市立福住小学校6年 島田楓

(2) メダカ教室を通じた環境教育の地域連携活動 昭和~未来を繋ぐもの

蒸発散位からみたメダカピオトープの持続可能性 武生~豊岡を繋ぐもの

福井工業高等専門学校

(3) 命を育む児童クラブの活動について

越前市社会福祉協議会

主管：第22回全国めだかシンポジウムin越前実行委員会

主催：日本めだかトラスト協会

共催：武生めだか連絡会 越前市社会福祉協議会 エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま
水辺と生き物を守る農家と市民の会 日本メダカ協会

後援：福井県 越前市 東京大学大学院新領域創成科学研究科

こしのみやこネットワークテレビ株式会社 エコビレッジ交流センター

NPO法人のっぽえちぜん NPO法人丹南市民自治研究センター エコラブえちぜん

味真野観光協会 東地区自治振興会 南地区自治振興会 タケフナイフビレッジ

お問合せ先：日本めだかトラスト協会事務局 TEL:090-3297-2182

